



『秋空に想いをのせて』 寸評

- ・さわやかかつ充実した内容をしめす作品
- ・m.9-12がとても印象的なコントラスト
- ・チェロの工夫が作品全体に多様な表情をもたらす
- ・弦楽四重奏のあつみがよく実現されている
- ・秋空にのせた想いをなにかのキーワードとしてうちだせると
なおタイトルのおさまりがよくなる

完成度をさらに上げるために

- ・m.7 b.3-4 II Vn.の休符を二分休符にまとめよう
- ・m.13 b.1-2 II Vn.の休符を二分休符にまとめよう
- ・m.9-10 I Vn.の記譜 
- ・m.11 I Vn.の記譜 
- ・一般則としてタイのひとつめの音符の音価をふたつめは超えてはならない
- ・m.6 b.1 メロディとII Vn.のレがモロぶつかっている
たとえば四度下のラにする
- ・m.5 b.1 Va.六度上の主音ドのほうがじゃまにならない
- ・m.15 全員のばしっぱなしではなくたとえばチェロですこし
アクセントになるうごきをいれたらどうだろう



- ・m.16 全音符でよいのでは

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいへんよくできました。

特魔 勉